

1	1931	21	北京	41	イギリス
2	1932	22	盧溝橋	42	ソ連
3	1933	23	南京	43	日ソ中立条約
4	1936	24	国家総動員法	44	ベトナム
5	1937	25	ポーランド	45	樺太
6	1938	26	フランス	46	台湾
7	1939	27	アンネの日記	47	イギリス
8	1941	28	アウシュビッツ	48	オランダ
9	1945	29	杉原千畝	49	パールハーバー
10	②	30	命	50	東条英機
11	みなみまんしゅうてつどうばくは 南満州鉄道爆破事件	31	日独伊三国同盟	51	学童疎開
12	15	32	大政翼賛会	52	ヤルタ
13	生命線	33	大日本産業報国会	53	ソ連
14	犬養毅	34	隣組	54	平和の礎
15	海軍	35	国民	55	③
16	リットン	36	フランス	56	中華民国
17	陸軍	37	ドイツ	57	②
18	二・二六事件	38	ポーランド	58	原爆ドーム
19	治安維持法	39	スイス	59	ミズーリ号
20	軍国主義	40	イタリア	60	小笠原諸島

記述1 中国を日本の植民地にして資源を安く手に入れ、輸出を増やして日本の不景気を解決しようとした。

記述2 犬養毅が満州国の承認に反対していたため。

記述3 戦争を続けるために、石油やゴムなどの資源を手に入れる必要があったため。

記述4 このとき、ソ連はまだ日本と戦争をしていなかったため。

記述5 原子爆弾の恐ろしさを後世に伝えるため。

記述6 ○アメリカの力で日本を降伏させたことを示すため。

○戦後の国際社会の中でより有利な立場に立つため。